

指定管理者制度導入施設 年度評価シート

評価年度

令和5年度

1 基本情報

公の施設名	相模原北公園、道保川公園、相模原麻溝公園、相模大野中央公園
指定管理者名	公益財団法人相模原市まち・みどり公社
指定期間	平成31年4月1日から令和6年3月31日まで（5年間）
施設設置条例	相模原市都市公園条例
施設の設置目的	公共の福祉の増進に資する。（都市公園法第1条） 市民の憩いの場及び市街地のみどりの創出を図る。
施設概要	<p>◆相模原北公園（平成3年供用開始）： 北部地域における公園緑地の拠点として整備されている。公園内に北総合体育館、多目的広場アジサイ園などがある。</p> <p>◆道保川公園（昭和59年供用開始）： 相模原近郊緑地保全地区内に位置し、良好な自然環境を有する風致公園である。自然のなかで、じかに野鳥や植物の観察などを体験しながら、自然への認識を深めることができる。野鳥観察ゾーン・山野草観察ゾーン・森林生態観察ゾーン・水生動植物観察ゾーン等がある。</p> <p>◆相模原麻溝公園（昭和60年供用開始）： 北側に県立相模原公園、西側に女子美術大学が隣接し、公園内を横浜水道道が通っている。大花壇、センター広場、芝生広場、グリーントワー相模原、フィールドアスレチック、多目的広場がある。一部首都圏近郊緑地保全地区指定区域に含まれる。総合公園。</p> <p>◆相模大野中央公園（平成2年供用開始）： 小田急線相模大野駅周辺地区に位置しており、買物や、通勤、通学などで中心市街地に集う人々や地域住民の憩いの場を目指している。近隣公園。</p>
施設所管課	公園課

2 管理実績

項目（単位）	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
ボランティア参加者数（人）	2,907	3,107	2,834	1,778	2,307	2,378	2,659

3 成果指標の達成度

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
S	ボランティア登録者数、緑化活動ともに目標値は達成しているが、前年度に比べて減少している。 ボランティア登録数については、高齢化によるボランティア数減少が想定される中で、SNSや自主事業の活用によって微減に留まった点は評価できる。

指標1	
指標名（単位）	ボランティアの全体登録者数（人）
指標式と指標の説明	指標に対する過去の実績値から目標値を設定し、それに対する達成度を算出する。 達成度＝実績値/目標値

項目（単位）	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値（人）	234	250	230	230	230	230	230
実績値（回）	292	295	266	260	254	268	265
達成度（%）	124.8%	118.0%	115.7%	113.0%	110.4%	116.5%	115.2%

指標2	
指標名（単位）	緑化活動の回数（回）
指標式と指標の説明	達成度＝実績値/目標値

項目（単位）	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値（回）	/	/	50	50	50	50	50
実績値（回）	/	/	164	200	270	196	130
達成度（%）	/	/	328.0%	400.0%	540.0%	392.0%	260.0%

4 事業の実施状況

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
B	事業の実施状況については達成度97%の「B評価」となる。事業実施数としては前年より8個増えたこと、グループ全体でも70の事業実施があった。各公園で開催の教室事業は人気のコンテンツであり、例年高い参加率を誇っているため、前年より規模を大きくしてより多くの方に参加いただくなどの開催方法も検討いただきたい。公園での事業実施については、公園の魅力向上、公園を含む地域の活性、事業者の収益確保など様々な側面があることから指定管理者として検証を行い、次回以降の実施についてつなげていただきたい。

市が指定する事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
クレマチスフェア（麻溝）	5月	クレマチス花鉢展示やクレマチス園芸相談等を行う指定事業。1回	○
あじさいフェア（麻溝）	6月	アジサイの美しい季節にアジサイ花鉢や、アジサイ挿し木苗配布等を行う指定事業。 対象：来園者	△
アジサイ・ローズフェア（相模原北）	6月	アジサイとバラの美しい時期にアジサイ花鉢展示、アジサイ挿し木苗配布等を行う	△
オータムフェア（相模原北・麻溝）	10月	花苗販売や園芸相談等を行う指定事業。 対象：来園者	○
ホタル観賞会（道保川）	6月	園内に生息しているホタルの鑑賞のため開園時間を延長。	◎

自主事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
パークヨガ（麻溝）	5・10月	外の開放感を感じながら気持ちよくのびのびとヨガを学ぶ事業。公園の認知度向上と有効活用となった事業。対象：18歳以上	○
寄せ植え教室（相模原北）	12月	季節の花を使い、寄せ植え・ハンギングバスケット作り等を学ぶ事業。 対象：どなたでも	◎
自然の観察会（道保川）	5・11月	園内に生息している草木や昆虫の種類、特徴などについて、自然観察指導員の説明を受けながら公園を散策し自然への理解を深める事業。	○
ラベンダースティック作り教室（相模原北・麻溝）	6月	園内のラベンダーを活用し、ポプリのスティックを作りながら、ラベンダーの効能等について学んでいただく事業。 対象：どなたでも	◎
こけ玉作り教室（相模原北・麻溝）	6・7月	こけ玉の作り方、こけの巻付け方、管理方法等について学んでいただく人気の事業。	◎

5 利用者の満足度

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
A	5年間の指定管理期間中全てで高い満足度を得ているのは、日常管理におけるスタッフ対応など安定した公園管理と適切な利用者対応が行われていることへの評価である。

利用者満足度調査	
調査手法/サンプル数	聞き取り等によるアンケート集計/年2回/サンプル数 年間600
目標値の基準	施設を利用した感想として「大変よかった」、「良かった」の合計の割合

項目 (単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値 (%)	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0
実績値 (%)	91.0	96.2	95.5	94.6	92.0	91.0	93.8
達成度 (%)	101.1%	106.9%	106.1%	105.1%	102.2%	101.1%	104.2%

その他の取組		
取組事項	時期	取組内容
ご意見箱の設置	通年	管理事務所に意見箱を設置し、自由なご意見を投函することを可能とした。当事者が回答を望む場合については、掲示板に回答を一定期間掲示している。
ホームページの問合せ	通年	24時間、365日受け付けることが可能となっている。来園を検討されている方や対面または電話などによるご意見が難しい利用者の意見を伺うことができる。ご意見に関してはEメールにより都度回答をしている。
事業毎のアンケート	事業都度	自主事業を実施した際、利用者ニーズを図るために実施している。ニーズを反映し事業を実施することで、参加率の向上を図っている。

6 施設の経営状況

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
A	施設の収支としては本体収支は赤字であるが全体収支が黒字となっており、団体の経営状況については特段の問題はないことからA評価とする。 本体事業の収支を改善するために積極的な経営をしていただきたい。 ボランティア活動等による公園の活性化が見られるため、事業に結びつけることで収益確保を目指していただきたい。

施設の収支概要		※直近3年間について記載		
		(千円)		
項目		令和3年度	令和4年度	令和5年度
収入 (a)		189,489	192,329	190,103
指定管理料		188,203	188,203	188,203
利用料金収入		0	0	0
その他の収入		1,286	4,126	1,900
支出 (b)		198,515	202,822	199,278
人件費		81,704	81,653	82,687
本社管理経費		9,712	10,530	9,692
その他の支出		107,099	110,639	106,899
本体事業収支 [(a)-(b)] (c)		-9,026	-10,493	-9,175
自主事業収入 (d)		13,372	13,791	15,070
自主事業支出 (e)		2,572	2,620	1,969
自主事業収支 [(d)-(e)] (f)		10,800	11,171	13,101
全体収支 [(c)+(f)]		1,774	678	3,926
備考				
団体の財務状況	団体本体の経営状況について特段の問題はない。			

7 管理業務の履行状況

検査方法	市チェックリストに基づき、指定管理者へのヒアリング・現地確認により検査を実施	
実施時期	令和6年3月	
検査項目	確認結果	備考
管理業務	適正に実施	
危機管理	適正に実施	
人員配置・地元活用	適正に実施	
現金管理	適正に実施	
会計・経理	適正に実施	
情報セキュリティ	適正に実施	
情報公開・個人情報保護	適正に実施	
市への報告事項・事前承認等	適正に実施	
加点事由	具体的内容	

8 ウェブアクセシビリティ

ホームページの作成	有
-----------	---

ウェブアクセシビリティの取組項目	取組状況
機種依存文字を使っていない。	○
ページ内の文字の大きさを変えることができる。	×
単語の途中にスペースや改行を入れていない。	○
ページ内容を的確に表しているタイトルが付いている。	○
ダウンロードできるファイルには、ファイルの種類とサイズを記載している。	×
画像には、代替テキスト等を付与し、支援技術利用者にも適切な代替情報を提供している。	○
背景色と文字色にコントラストを確保するなど、色使いに配慮している。	○
その他取り組んでいること	スマートフォンからホームページにアクセスした場合、スマートフォン仕様の表示が可能。

9 指定管理者の自己評価

ボランティア会員数については、高齢化による会員数の減少が全ボランティア団体共通の課題となっているが、ボランティア団体の会員を講師とした自主事業の実施や、公園フェアやSNSを利用したボランティア活動のPRによって新規会員の加入促進に努めた。また、継続的な活動につながるよう、職員も積極的にボランティア活動のバックアップを行い、より多くの方が多くの回数、活動に参加していただけるように協力を行った。

令和4年度はオータムフェア以外の公園フェアが中止となった影響で、公園での緑化意識啓発活動が困難であったことからFacebookなどのSNSを積極的に活用して公園のPR活動を行ったが、令和5年度は各種フェアや緑化関連の自主事業を実施することで情報発信に努めた。SNSでは主に花の見頃情報やボランティア活動報告等を行った。

満足度調査の結果は、目標値の90%を大きく超える高い評価を得ている。

10 所管課意見

日常の点検や清掃、ボランティア団体との連携により安全できれいな公園管理に努め、来場者の多くから高い評価を得ている点や安定した公園管理に尽力いただいた点について評価できる。

事業については、昨年度より実施した事業も増え、参加人数も増加したことは公園の魅力向上に貢献したと考える。事業の実施状況の評価にもあるように、人気コンテンツについては前年より規模を大きくしてより多くの方に参加いただくなどの開催方法の工夫などを検討いただきたい。

公園での事業には公園の魅力向上、公園を含む地域の活性、事業者の収益確保など様々な側面があることから指定管理者としても事業の検証・評価を行い、次回以降の実施に生かすような取り組みもお願いしたい。

11 選考委員会意見

・倒木等の報告や利用者満足度調査で落枝のご意見があることから、特に園路にかかる高木、高齢木については専門家による健全度、安全診断を受けるとともに植栽計画を立案して安全管理に努めていただきたい。

・自然災害等が増加している中、大きな事故もなく、無事5年間運営している点が評価できる。

総合評価（自動判定）

A

(75/100)

